

年間被ばく限度半年で超えた

労働者告発 福島第1原発廃炉作業の間

国と東京電力が過酷事故をおこした福島第1原発（1F）でいまでも続く廃炉作業の実態は、どんなものか。「故郷を少しでも復興させたい」との思いを胸に、1号機の原子炉建屋内で作業にあたった複数の労働者が、放射線管理手帳や給与明細を見せながら「使い捨て労働だ。被ばくの不安がある」「命を削っている割に、安い」と本紙に告発しました。法令違反の疑いもある廃炉作業の「闇」を検証しました。

（阿部浩士）

AさんもBさんも孫請け 業員」として仕事し、会社に雇用されながら、た。元請けは清水建設。給ある1次下請け会社の作 与は、雇用された会社から

アサヒ新聞 特別報道

出ましたが、実際の現場指揮は清水建設でした。作業者の限度被ばく線量は、国の基準として、「5年間で100ミリシーベルト」「1年間で50ミリシーベルト」と決まっています。線量が被ばく限度いっぱいになった作業を告発するのは、Aさんです。

Aさんは、昨年2月から7月半ばまでの半年間、原子炉隣の敷地に散乱するガレキを撤去する仕事と、その敷地に鉄板を敷く作業をしました。本紙が入手したAさんの

作業計画表によれば、敷地の平均線量値は、毎時9・

85ミリシーベルトです。最高値が毎時35ミリシーベルトもあります。防護服の上にタンクステッドベストと短パンを着用しましたが、「歩くだけで0・1上がり、3回警告音が鳴ったら作業を中断する」という高線量のエリアです。「原子炉隣には近づかないで作業しろ」といわれた。ガレキ撤去は、グラウンドレーキのようなものでガレキをかき集めて、炭をはきむトンクでフレコンバッグという巨大ゴミ袋に詰める作業です。手作業は禁止されましたが、トンクではさめないガレキの片づけは、革手をはめた手作業を清水も認めました。

日	時間	線量	備考
27	4	0.11	
27	8	0.11	
27	12	0.11	
27	16	0.11	
27	20	0.11	
27	24	0.11	
27	28	0.11	
27	32	0.11	
27	36	0.11	
27	40	0.11	
27	44	0.11	
27	48	0.11	
27	52	0.11	
27	56	0.11	
27	60	0.11	
27	64	0.11	
27	68	0.11	
27	72	0.11	
27	76	0.11	
27	80	0.11	
27	84	0.11	
27	88	0.11	
27	92	0.11	
27	96	0.11	
27	100	0.11	
27	104	0.11	
27	108	0.11	
27	112	0.11	
27	116	0.11	
27	120	0.11	
27	124	0.11	
27	128	0.11	
27	132	0.11	
27	136	0.11	
27	140	0.11	
27	144	0.11	
27	148	0.11	
27	152	0.11	
27	156	0.11	
27	160	0.11	
27	164	0.11	
27	168	0.11	
27	172	0.11	
27	176	0.11	
27	180	0.11	
27	184	0.11	
27	188	0.11	
27	192	0.11	
27	196	0.11	
27	200	0.11	
27	204	0.11	
27	208	0.11	
27	212	0.11	
27	216	0.11	
27	220	0.11	
27	224	0.11	
27	228	0.11	
27	232	0.11	
27	236	0.11	
27	240	0.11	
27	244	0.11	
27	248	0.11	
27	252	0.11	
27	256	0.11	
27	260	0.11	
27	264	0.11	
27	268	0.11	
27	272	0.11	
27	276	0.11	
27	280	0.11	
27	284	0.11	
27	288	0.11	
27	292	0.11	
27	296	0.11	
27	300	0.11	
27	304	0.11	
27	308	0.11	
27	312	0.11	
27	316	0.11	
27	320	0.11	
27	324	0.11	
27	328	0.11	
27	332	0.11	
27	336	0.11	
27	340	0.11	
27	344	0.11	
27	348	0.11	
27	352	0.11	
27	356	0.11	
27	360	0.11	
27	364	0.11	
27	368	0.11	
27	372	0.11	
27	376	0.11	
27	380	0.11	
27	384	0.11	
27	388	0.11	
27	392	0.11	
27	396	0.11	
27	400	0.11	
27	404	0.11	
27	408	0.11	
27	412	0.11	
27	416	0.11	
27	420	0.11	
27	424	0.11	
27	428	0.11	
27	432	0.11	
27	436	0.11	
27	440	0.11	
27	444	0.11	
27	448	0.11	
27	452	0.11	
27	456	0.11	
27	460	0.11	
27	464	0.11	
27	468	0.11	
27	472	0.11	
27	476	0.11	
27	480	0.11	
27	484	0.11	
27	488	0.11	
27	492	0.11	
27	496	0.11	
27	500	0.11	
27	504	0.11	
27	508	0.11	
27	512	0.11	
27	516	0.11	
27	520	0.11	
27	524	0.11	
27	528	0.11	
27	532	0.11	
27	536	0.11	
27	540	0.11	
27	544	0.11	
27	548	0.11	
27	552	0.11	
27	556	0.11	
27	560	0.11	
27	564	0.11	
27	568	0.11	
27	572	0.11	
27	576	0.11	
27	580	0.11	
27	584	0.11	
27	588	0.11	
27	592	0.11	
27	596	0.11	
27	600	0.11	
27	604	0.11	
27	608	0.11	
27	612	0.11	
27	616	0.11	
27	620	0.11	
27	624	0.11	
27	628	0.11	
27	632	0.11	
27	636	0.11	
27	640	0.11	
27	644	0.11	
27	648	0.11	
27	652	0.11	
27	656	0.11	
27	660	0.11	
27	664	0.11	
27	668	0.11	
27	672	0.11	
27	676	0.11	
27	680	0.11	
27	684	0.11	
27	688	0.11	
27	692	0.11	
27	696	0.11	
27	700	0.11	
27	704	0.11	
27	708	0.11	
27	712	0.11	
27	716	0.11	
27	720	0.11	
27	724	0.11	
27	728	0.11	
27	732	0.11	
27	736	0.11	
27	740	0.11	
27	744	0.11	
27	748	0.11	
27	752	0.11	
27	756	0.11	
27	760	0.11	
27	764	0.11	
27	768	0.11	
27	772	0.11	
27	776	0.11	
27	780	0.11	
27	784	0.11	
27	788	0.11	
27	792	0.11	
27	796	0.11	
27	800	0.11	
27	804	0.11	
27	808	0.11	
27	812	0.11	
27	816	0.11	
27	820	0.11	
27	824	0.11	
27	828	0.11	
27	832	0.11	
27	836	0.11	
27	840	0.11	
27	844	0.11	
27	848	0.11	
27	852	0.11	
27	856	0.11	
27	860	0.11	
27	864	0.11	
27	868	0.11	
27	872	0.11	
27	876	0.11	
27	880	0.11	
27	884	0.11	
27	888	0.11	
27	892	0.11	
27	896	0.11	
27	900	0.11	
27	904	0.11	
27	908	0.11	
27	912	0.11	
27	916	0.11	
27	920	0.11	
27	924	0.11	
27	928	0.11	
27	932	0.11	
27	936	0.11	
27	940	0.11	
27	944	0.11	
27	948	0.11	
27	952	0.11	
27	956	0.11	
27	960	0.11	
27	964	0.11	
27	968	0.11	
27	972	0.11	
27	976	0.11	
27	980	0.11	
27	984	0.11	
27	988	0.11	
27	992	0.11	
27	996	0.11	
27	1000	0.11	

Aさんの放射線管理手帳に記載された月々の線量。6カ月の合計は54・83ミリシーベルトを超えていた

Aさんの放射線管理手帳には、月々の被ばく線量が記載されています。

2月	11・96
3月	11・82
4月	8・2
5月	11・00
6月	5・06
7月	0・33
6カ月の合計	54・83

1年間の上限を超えていました。

(3面につづく)

7/17
土曜

「高線量の仕事、短期の使い捨てだったのか」

命を削っている作業

1面のつづき

被ばく線量の国の基準は「5年間で100mSv」

「1年間で50mSv」です。しかし、Aさんの6カ月の合計は54・83mSvでした。なぜ働かせ続けられるのか。

線量は、年度替わりの3月で一度リセットされ、4月から新たにカウントする。要員だったのが怒りがわき起こった。と、いま

Aさんは、あるとき休憩所、別の会社の作業員。同じで、「清水も、あそこ

でよく働く人を見つけた。ね」との会話を聞きまし

た。「おれは、線量の高いハネされていく気がする」

AさんもBさんの共通する思いです。

Bさんは、昨年7月から今年2月まで、原子炉建屋

に携わりました。Bさんは、雇われた会社

から、給与明細を見せ

てくれました。「基本給が各

月でバラバラ、その他」

健康管理も自己責任

Aさんらの苦悶から浮かびあがる。闇のひとつが、被ばくした労働者の実態とその健康管理です。

「過酷事故から1年。依然として累積的に50mSvを超えた労働者がいる」とに驚いている。事実上、使

い捨てにしている。しかも、健康管理は自己責任で

追いついていないのは許しがたい」と話すのは、全日本民医連の医師で、九州社会医学研究所所長の田村昭彦さんです。

重層下請けやめよ

「Aさんらの苦悶は、東電がさかんに宣伝するロボット作業の前段作業、環境整備において、高線量被ばくする、使い捨て労働があることを示している」と話すのは、東京労働安全衛生センターの飯田勝義事務局長です。

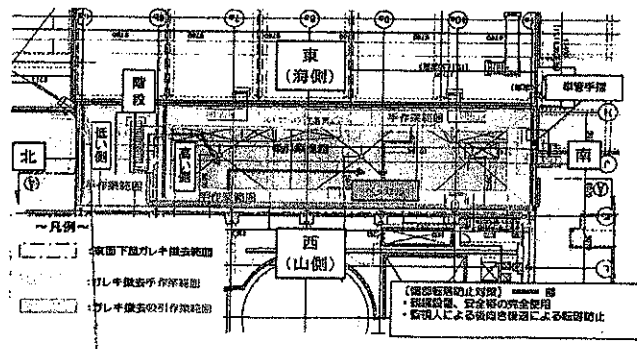
飯田さんは、「東電は高線量被ばく労働を隠しながら、技術的なものでない

「Aさんらの苦悶は、東電がさかんに宣伝するロボット作業の前段作業、環境整備において、高線量被ばくする、使い捨て労働があることを示している」と話すのは、東京労働安全衛生センターの飯田勝義事務局長です。

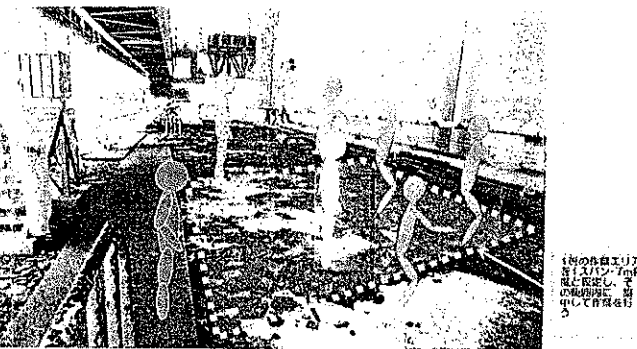
【東下層状況写真】



【人力作業計画平面図】



現地作業イメージ



作業員数 約20人	作業時間 約200時間	作業内容 作業の維持・改善作業	作業場所 作業区域
作業員数 約50人	作業時間 約500時間	作業内容 作業の維持・改善作業	作業場所 作業区域
作業員数 約100人	作業時間 約1000時間	作業内容 作業の維持・改善作業	作業場所 作業区域

本紙が入手した作業計画表にある作業現場。本紙が入手した作業計画表にある作業イメージ図。

Aさんらも同じ結論。線量が限度いっぱいになったこと低い日当を考へて、廃炉作業から離れま

Aさんは、頭痛がひどく疲れやすいと話します。健康診断も経済的な負担を考へると手まならないとい

省に報告する「作業者の被ばく線量の評価状況」です。これは「東電が直接把握したものでなく、各電力会社からの報告を集約したもの(東電広報)で、Aさんのように労働者の実質的な線量を評価していきま

る福島県産の斎藤春彦議長です。「国政」としてすめた原発を初めて起こした過酷事故被ばくを伴った特殊な作業です。働き方が超ブラックで東電や元請けの使用責任をあいまいにし、無責任にしている重層下請けの雇用形態の転換を」と訴えます。「本来的には、奪われた故郷を取り戻す時期がある仕事です。少なくとも元請けの社風にするなど、雇用、処遇の面でも安心して作業できる職場にする必要があります」